

弘前大学職員組合

職場環境改善聴き取りアンケート(コロナ対応)結果報告①

アンケート送付対象:看護師 716 名 回答数 180 名(回答率:25.1%)

精神的・肉体的疲労限界 大きな負荷がかかっている

～心身の不調をこらえてがんばっても、病院からも誰からもねぎらいの言葉ない～

(アンケート自由記述より)

① 陽性かもしれない患者と常に直接対応しなければならない(21人:11.7%)

② 時と場合により、直接対応しなければならない(103人:57.5%)

計 124 人の人たちは、日常的なコロナ対応で心身に不調がでていると訴えています (179人の回答中)

ひどく疲れる
45人(36%)

首や肩が凝る
22人(17%)

頭痛がする
21人(17%)

食欲がない
3人(2%)

胃痛・腹痛
9人(7%)

下痢・便秘
8人(6%)

眠れない
15人(12%)

緊張している
47人(38%)

気分が落ち込む
25人(20%)

日常的にコロナ対応していない人と比較すると明らかに多くなっています。
例えば、日常的に対応していない人は、「ひどく疲れる」9人(15%)、「首や肩が凝る」3人(5%)、「頭痛がする」4人(7%)、「眠れない」2人(3%)、「緊張している」11人(19%)です。

計 54 人(176人の回答中)は、「明らかに忙しくなった」

計 122 人(174人の回答中)は、「やらなければならない仕事が増えた」と訴えています

仕事が増えている

☆かつてより早出している⇒5人
☆かつてより残業している⇒53人
☆休日出勤増えている⇒1人

・マスクやアイガード、ガウンの着用等のフル装備に時間がかかる・帰宅時前のシャワー義務付け・病床が常に満床・コロナ対応の後の清掃洗濯も看護師の仕事・患者に説明するのに時間がかかる・術後 ICU に入らず病棟に患者が直帰してくる・挿管時部屋から退避・電話対応増えている・洗濯物の受け渡しまで仕事・他科の患者の入院対応・コロナ病棟に人員を取られる・検査数増えている

嫌な思いもしている

コロナウイルス対応で嫌な思いをしたことがある
⇒34人

・入院中の患者や家族に面会させると怒鳴られる・県外にいる息子に会えない・ルールを守らない患者にふりまわされる・周囲の人から避けられる・興味本位でいろいろ聞かれる・突然コロナ対応の病棟に勤務するよう言われる・独身だからコロナ病棟に入れと言われた・独身は個人の意思の確認もなく有無をいわずコロナ対応だった・他の病棟からの応援もなくカツカツのスタッフでやりとおしている。誰からも病院からもねぎらいの言葉はない

